

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【公開番号】特開 2005-161006 (P2005-161006A)

【公開日】平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【年通号数】公開・登録公報 2005-024

【出願番号】特願 2004-29475 (P2004-29475)

【国際特許分類】

**A 6 1 F 13/15 (2006.01)**

**A 6 1 F 13/494 (2006.01)**

**A 6 1 F 5/44 (2006.01)**

**A 6 1 F 13/49 (2006.01)**

**A 6 1 F 13/511 (2006.01)**

**A 6 1 F 13/472 (2006.01)**

【F I】

A 4 1 B 13/02 K

A 6 1 F 5/44 H

A 4 1 B 13/02 E

A 4 1 B 13/02 G

A 4 1 B 13/02 T

A 6 1 F 13/18 3 4 0

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 4】

物品 1 0 C では、股下域 1 5 と第 1 部位 2 2 とに位置するコア 2 0 の横方向の曲げ剛性値が 9 . 4 ~ 2 8 . 2 m N の範囲にあり、第 2 部位 2 3 に位置するコア 2 0 の横方向の曲げ剛性値が 5 . 5 ~ 1 6 . 5 m N の範囲にある。股下域 1 5 と第 1 部位 2 2 とに位置するコア 2 0 の曲げ剛性値が 9 . 4 m N 未満では、弾性部材 3 6 の収縮力によって股下域 1 5 と第 1 部位 2 2 とが不規則に折れ曲がる場合があり、股下域 1 5 や第 1 部位 2 2 に位置するコア 2 0 に排泄物を効率よく吸収させることができない。股下域 1 5 と第 1 部位 2 2 とに位置するコア 2 0 の曲げ剛性値が 2 8 . 2 m N を超過すると、股下域 1 5 や第 1 部位 2 2 の剛性が必要以上に増加し、物品 1 0 C の着用感が低下する。第 2 部位 2 3 に位置するコア 2 0 の曲げ剛性値が 5 . 5 m N 未満では、弾性部材 3 6 の収縮力によって第 2 部位 2 3 が不規則に折れ曲がり、第 2 部位 2 3 によって障壁 4 8 やポケット 4 9 を形成することができない場合がある。第 2 部位 2 3 に位置するコア 2 0 の曲げ剛性値が 1 6 . 5 m N を超過すると、第 2 部位 2 3 においてコア 2 0 が折れ曲がり難くなり、弾性部材 3 6 の収縮力によって第 1 部位 2 2 を股下域 1 5 の側に引き寄せることができず、第 2 部位 2 3 によって障壁 4 8 やポケット 4 9 を形成することができない場合がある。股下域 1 5 や第 1 および第 2 部位 2 2 , 2 3 に位置するコア 2 0 の曲げ剛性値は、ガーレ法 ( J I S L 1 0 9 6 - 0 1 - 8 . 2 0 . 1 ) に準拠して測定した。曲げ剛性値の測定方法は、物品 1 0 A のそれと同一である。